



非住宅部門
事例

18

空き家利活用コンテスト2024 優秀賞（地域貢献賞）

CAFE2020（カフェツレヅレ）

大山町の新しい拠点として生まれ変わった
古民家カフェ



壁を抜いてカウンターを作り、キッチンを見えるようにしている。お酒のボトル棚やグラスなど見せる収納となっている。

約9年間空き家だった元酒店を、地域活性化に貢献したいとの思いから、改修することを決意し、2022年7月に「CAFE2020」を開業した。低い天井を吹き抜けにし、開放感のある空間に。梁や天井を活かし、古民家ならではの温かみを感じる設計に仕上げた。また、中庭にあった思い入れのあるドウダンツツジを残し、四季折々の景色を楽しめるように整備。これからはイベントスペースとしても活用予定。改修にはシロアリや老朽化による床や壁の修復費用があったが、地元の人々と一緒に作り上げることで、コストを抑えつつ理想の空間を実現。大山町の食材を使ったメニューなど地域の活性化につながる工夫が詰まったカフェだ。物件の活用にあたっては、大山と日本海を一望できる立地も大きな決め手だった。



温かみのある古い木を残しつつ、無機質なコンクリートと融合させた。



2階はお座敷スペースを設けお子さま連れのお客様にも対応できる。
また、天井から見える梁がアクセントになっている。



カウンター部分の天井を吹き抜けにすることで開放感生まれ、採光性もあがり明るい空間となった。





席ごとに違うイスやテーブルを置き、様々な表情が楽しめる客席に。キッチンの壁・天井は木くずのような下地の壁を塗装しコストダウンを兼ねながら表情のある空間に仕上がった。

[DATA]



- 【所在地】西伯郡大山町 【構造】木造2階建て
- 【築年月】不明
- 【改修後の用途】店舗（飲食店）
- 【間取り構成】個室5屋・キッチン・トイレ2箇所
- 【改修期間】2021年7月～2022年7月
- 【改修費用】約1,000万円
- 【設計者】有限会社カゲヤマ